

インドネシア向け製造現場における省エネルギー活動

日時

*以下、インドネシア時間。4日間全てのウェビナーへのご参加が必要です。

- 1) 2022年2月 14日(月) 9:00-12:00
- 2) 2022年2月 17日(木) 9:00-12:00
- 3) 2022年2月 21日(月) 9:00-12:00
- 4) 2022年2月 24日(木) 9:00-12:00

使用ツール

Zoomミーティング

※今回のウェビナー参加では、規定を満たした参加者にAOTS修了証書が付与されます。

参加定員

25名

参加費

11,000円

※本ウェビナーは経済産業省の補助金により実施されます。

言語

インドネシア語
(日本語からの通訳)
講義資料はインドネシア語で
作成されます

参加要件：申込企業、参加者所属企業、参加者

以下、全ての参加要件を満たすことが必要です。詳細は募集要項をご参照ください。

*本研修は、日本国内の法人を通じてのお申し込みと参加費用のご負担が必要です。

- (1) 申込企業(日本国内の法人)及び参加者所属企業(インドネシア国内の法人)は、自動車、産業機械及び電気機械分野(三業種：以下*1)の企業もしくは三業種企業のサプライヤー企業であること。
- (2) 申込企業は日本の中小企業または中堅企業(以下*2)であること。
- (3) 参加者所属企業は申込企業と資本関係か取引関係または技術提携契約等の関係があること。
- (4) 参加者は、三業種製品あるいは三業種向け製品生産ラインを管轄もしくは担当している方。
- (5) 参加者は、本研修で策定する省エネに向けた行動計画を生産現場で展開する立場にある経営幹部、工場長、生産管理者、専門家(工程管理やエネルギー管理などを担当するエンジニア等)の方。
- (6) 参加者は、インドネシアに居住及び勤務をしている方(日本人はご参加いただけません)

(*1)三業種：

(1)自動車分野(自動車、自動車部品等)、(2)産業機械分野(工作機械、生産用・業務用機械等)、(3)電気機械分野(重電器、電子・情報通信機器、精密機器、家庭電器等)

(*2)「中堅企業」とは中小企業以外の企業で資本金10億円未満の企業、「中小企業」とは中小企業基本法に規定する企業です。
但し、以下のいずれかに該当する企業は対象外で、利用できません。

- ①資本金又は出資金が5億円以上の法人に直接又は間接に100%の株式を保有される中小企業、及び資本金又は出資金が10億円以上の法人に直接又は間接に100%の株式を保有される中堅企業。
- ②研修申込書提出時点において、確定している(申告済みの)直近過去3年分の各年又は各事業年度の課税所得の年平均額が15億円を超える中小企業及び中堅企業。

申込締切日

2022年1月31日(月)

お申込み・お問合せ先

(一財)海外産業人材育成協会(AOTS)
海外協力グループ(担当：吉田、古屋)
TEL：03-3888-8256
<https://www.aots.jp/>
Email: aotswebinar-teitan@aots.jp

講師



宇田吉明 講師 宇田環境経営研究所 コンサルタント

食品会社で30年間生産技術を担当し、数々のヒット商品の開発に関わった。その後、摂南大学非常勤講師（地球環境資源論）を経て、中小企業診断士事務所「宇田環境経営研究所」を設立し、以来、中小企業の環境経営支援、品質管理指導等を行っている。特に環境経営システム「エコアクション21*」の導入支援は全国で200社を超える実績を持っている。2020年に日本政府から低炭素社会貢献賞（環境省総合環境政策統括官賞）を、2021年には地球環境保全功労者表彰（環境大臣賞）を授与された。

*エコアクション21：日本政府（環境省）が策定した日本独自の環境マネジメントシステム。



中田進久 講師 宇田環境経営研究所 コンサルタント NPO法人大阪環境カウンセラー協会 副理事長

電気機器メーカーにて約10年設備管理に従事、その後2003年からエコアクション21の普及を通じた企業の省エネ活動に携わる。現在エコアクション21大阪の事務局の普及委員。エコアクション21から刊行された「省エネハンドブック」の座長を務めた。

スケジュール

日時	講義内容	担当講師
【1日目】 2/14(月) 9:00-12:00 (インドネシア)	<p><事前課題> 自社の省エネルギーチェックリストを策定</p> <p><講義> (1)世界の現状 -地球温暖化の背景- (2)省エネルギー活動の考え方 ・企業の工場、事務所で進める省エネ活動と効果 ・省エネルギー活動における経営者、管理者の役割 (3)策定した省エネルギーチェックリストへのフィードバック</p> <p><宿題> 1日目のフィードバックを反映して、省エネルギーチェックリストを完成</p>	宇田吉明
【2日目】 2/17(木) 9:00-12:00 (インドネシア)	<p><講義> (1)省エネルギー活動推進のための方法① ・省エネ化のためのステップ ・エネルギーの見える化 ・省エネの着眼点 ・継続的改善の組織への定着</p>	宇田吉明
【3日目】 2/21(月) 9:00-12:00 (インドネシア)	<p><講義>(9:00-10:00) (1)省エネルギー活動推進のための方法②(続き) ・日本の製造現場における省エネ活動事</p> <p><経営者講演>(10:00-11:00) (2)日本の製造業企業における省エネ活動事例</p> <p><演習>(11:00-12:00) (3)省エネルギー活動計画策定ガイダンス ・課題：各社ごとに調査行い、設備一覧表、エネルギー使用量調査表を用いて実施するエネルギー対策表を作成する</p> <p><宿題> 自社の省エネルギー活動計画を策定</p>	中田進久
【4日目】 2/24(木) 9:00-12:00 (インドネシア)	<p><演習> (1)各社ごとの個別発表および個別フィードバック ・2グループに分かれ、各社ごとに3日目の宿題である自社の省エネルギー活動計画を発表 ・活動計画についての講師からや他参加者からフィードバックを受け、完成させる (2)総括</p>	①宇田吉明 ②中田進久